

広報

# なんたん



Vol.49



【特集】

もしもの時に備えて...

—南丹市総合防災訓練—

2011年  
10・11月号



①



③



②

# もしもの時に備えて……

## — 南丹市総合防災訓練 —

地震は突然襲ってきます

その時あなたは……あなたの大切な人は……

もしもの時に備えて

日ごろから準備をしておくことが大切です

# 広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】南丹市総合防災訓練**
- ⑧ **南丹市職員給与を公表します**
- ⑩ **インフォメーション**
  - ・平成23年度第1回南丹市子どもの主張大会
  - ・平成23年度青年の主張京都府大会
  - わたしの主張2011
- ⑭ **行政トピックス**
  - ・スプリングスひよし
  - 「道の駅」としてオープン
  - ・第2次南丹市交通安全計画を策定
  - ・国民文化祭・京都2011開催 ほか
- ⑲ **みんなで描こう協働のキャンパス**
- ⑳ **いきいき南丹**
- ㉑ **人権の窓／環・境・市・民**
- ㉒ **図書館へようこそ！／暮らしにホッと**
- ㉓ **ぶらりなんたん**
- ㉔ **みんなのひろば**
  - ・第11回能楽の夕べ「美山かやぶき薪能」
  - ・フィールドトリップinなんたん ほか
- ㉖ **なんたんミュージアム／わが家のアイドル**

### 今月の表紙

10月2日、南丹市総合防災訓練を行い、多くの方にご参加いただきました。写真は、南丹市消防団八木支団が行う「車両救出訓練」の様子。大きな掛け声、真剣なまなざしが印象的でした。



平成23年10月2日(日)、南丹市総合防災訓練を、南丹市八木町運動公園をメイン会場として実施しました。

今回の訓練は、「午前6時50分に発生した地震により、南丹市全域で強い揺れを感じ、市中心部では震度6強を観測。各地域で被害が発生している」という想定で行いました。

まず、地震発生直後の訓練として、市役所職員による動員訓練や災害対策本部設置運用訓練を市役所本庁および各支所で行いました。また、各地域では、区ごとに住民への避難指示伝達訓練や、一時避難所への避難訓練が行われました。

続いて、南丹市八木町運動公園に会場を移し、公共土木施設応急

復旧対策訓練や応急給水訓練など、地震により発生すると考えられる被害をいち早く復旧する訓練や、座屈ビルや事故車両からの人命救出訓練と、地元医療機関などによる応急救護・手当訓練、救急搬送の訓練を実施しました。

また、一時避難所に避難されていた方に、収容避難所へ避難していただく避難誘導訓練、地震により一時崩落した堤防を補強する水防訓練、大規模災害火災を想定した大規模火災対応訓練を実施しました。その他、自衛隊と地元のボランティアの協力による炊き出し訓練も行いました。

なお、園部町、日吉町、美山町の各地域では、それぞれ防災対策向上訓練を行いました。

- 写真 ■
- ①住民避難(一時避難所)訓練
  - ②災害対策本部設置運用訓練
  - ③災害対策本部および災害現地対策本部設置訓練
  - ④公共土木施設応急復旧対策訓練
  - ⑤LPガス仮設訓練
  - ⑥炊き出し訓練(自衛隊)
  - ⑦炊き出し訓練(ボランティア)
  - ⑧応急給水訓練
  - ⑨住民避難訓練・避難誘導訓練
  - ⑩座屈ビル救出訓練
  - ⑪車両救出訓練
  - ⑫救急搬送訓練
  - ⑬応急救護・手当訓練
  - ⑭初期消火訓練(バケツリレー)



### 展示・啓発コーナー



メモリアル広場では、南丹広域振興局や公立南丹病院、NIT、NPO法人コメリ災害対策センターなど、関係機関の啓発・展示コーナーが設置されました。

京都中部広域消防組合のコーナーでは、起震車による地震体験（写真①）が行われた他、3月11日に発生した東日本大震災へ支援に向いた際に撮影された活動状況などのパネル展示（写真②）が行われました。また、南丹警察署のコーナーでは、水害時などに活用されるゴムボート（写真③）が展示された他、南丹保健所のコーナーでは、心肺蘇生のトレーニングを行う機器が置かれ、来場者が実際に心肺蘇生の方法を確認（写真④）していました。自衛隊のコーナーでは、エンジンカッターなど、災害時などに用いられる資機材（写真⑤）の他、救急車や高機動車など特殊車両4台（写真⑥）が展示されました。

## 地域防災向上訓練

### 園部町地域



園部町では、川辺小学校を会場に取り組みました。

一時避難所として指定している各地区の公民館から、船岡区、高屋区、大戸区、越方区の住民ら150人が、消防団員の指示・先導により、収容避難所に指定している川辺小学校まで避難する、避難誘導訓練を実施しました。

川辺小学校へ移動した後は、消火器の取り扱い訓練やバケツリレーによる初期消火訓練を実施した

ほか、AEDを使った心肺蘇生法の体験や非常食（アルファ化米）の試食をしました。

また、消防団が管理するエンジンカッターや油圧救助資機材の使用について説明が行われ、実際に住民の方が金属を切断する体験をしました。

### 日吉町地域

日吉町では、殿田中学校を会場に取り組みました。

## ◆◆◆防災訓練に参加して◆◆◆



今回の訓練は、全体としてスムーズに進んだが、日ごろから各機関が、それぞれの立場で防災意識を高め、対応力を底上げすることが大切。消防団や市役所、警察などと連携することで、災害現場でも意思疎通が図れ、スムーズな対応ができると感じている。

(京都中部広域消防組合 園部消防署 警防課  
主任消防指令補 鹿島学さん)



今日の訓練では想定外のことが起こり、急に患者が運び込まれた。本番でもあることなので、関係機関と協力して取り組みたい。「みんな助けたい」という気持ちはあるが、次々と患者が運び込まれてくる現場では、トリアージ（症度判定）に準じて、時には感情を抑えて行動することも大切だと感じた。

(公立南丹病院DMA T隊員 西川享さん)

前回の訓練を踏まえ、大変立派な良い内容の訓練ができたと思う。今日の訓練は、これから発生する災害に対して必要な訓練だという思いがある。これからも、日々訓練を続け、安心安全の備えにしたい。

(南丹市消防団長 益田武彦さん)

住民同士の連携がとれた良い訓練だった。消防団やふれあい委員の皆さんとともに、独居老人のお宅を一軒一軒訪問したことで、誰がどこに住んでいるのかということ把握できた。万一災害が起きても、安否確認がスムーズにでき、各組長に指示が出せるなど、区長としての役割を果たすことができると再確認した。

(南地区区長会長 石田純さん)

小学生のころは、災害なんか起こらないと思っていたので、避難訓練は邪魔くさかった。でも、災害が身近なものに感じられてきた。今日の訓練では担架隊をしたが、担架をちゃんと運ぶことがすごく重要な役割だと認識した。けがをされた方を運ぶとき、集中すればするほど自分たち中心になってしまう。私たちが声を掛けてあげるなど、気遣いをしてあげることが大切だということがわかった。

(公立南丹看護専門学校2年 佐々木朋子さん  
西山菜央さん)



早朝からの訓練で、一時避難所に避難していた殿田区、木住区、生畑区、中世木区の住民が、収容避難所に指定している殿田中学校へ避難する、避難訓練を実施しました。

殿田中学校体育館で園部消防署日吉出張所の署員を講師に、毛布やシートを利用した簡易担架の作り方や、三角巾を利用した手当の方法について講習会が開かれ、住民や地元消防団員が指導を受けました。

また、グラウンドへ移動し、バケツリレーによる初期消火訓練を実施しました。

美山町では、平屋小学校を会場に、取り組みました。

一時避難所となっている各地区の公民館から、上平屋区、安掛区、野添区の住民が、平屋振興会からの避難指示に従い、収容避難所に指定している平屋小学校まで、消防団員や市職員の先導で避難する避難誘導訓練を実施しました。

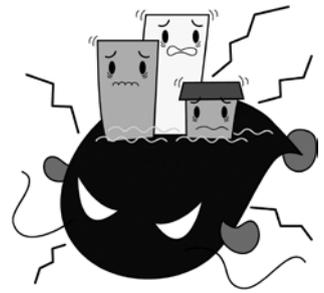
平屋小学校へ移動したあとは、消火器の取り扱い訓練や、区ごとに隊列を組んでのバケツリレーによる初期消火訓練を実施しました。

### 美山町地域

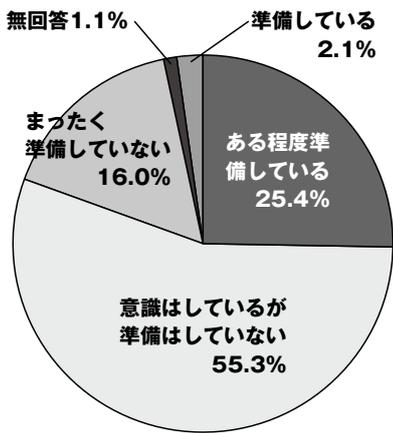


■ 写真 ■ ①避難誘導訓練②消火器取り扱い訓練③AED体験④資機材使用体験（以上園部）⑤初期消火訓練⑥簡易担架の作り方講習⑦三角巾を利用した手当方法の講習（以上日吉）⑧初期消火訓練⑨消火器取り扱い訓練（以上美山）

# いつ起こるか わからない 地震



地震が発生したら、何よりもまず、自分の命の安全を確保する！  
自分が行動するさまざまな場所・場面での地震を想定し、適切な行動がとれるようにしておきましょう！



今年6月に実施した南丹市市民意識調査で、「避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をされていますか」という質問をしたところ、「している」と回答された方はわずか2・1%、「ある程度している」と答えた方を加えても27・5%で、市民の4分の1の方しか備えをされていないという結果でした。

## 災害への備えは？

大学などの研究によると、地震には活動期と静穏期の周期性があると考えられており、平成7年に阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震以降、日本列島は地震の活動期に入ったといわれています。

## 注意！地震活動期

## もしも…を予測する

地震は突然襲ってきます。災害から命を守るため、適切な行動がとれるようにしておくことが大切です。ポイントは次のとおりです。

### ●まず身の安全を確保

揺れを感じたらすぐに家具から離れ、丈夫なテーブルや机の下に隠れるなど、落下物などから身を守りましょう。



### ●慌てて屋外に飛び出さない

大きな揺れに驚いて、とっさに屋外に飛び出してしまうのは大変危険です。

### ●すばやく火の始末

揺れの大きさを判断し、落ちて着いて火の始末をしましょう。

### ●扉や窓を開けて脱出口を確保

地震によって建物がゆがみ、出入り口が開かなくなる場合があります。いち早く扉や窓を開け、建物に閉じ込められないようにしましょう。



### ●隣り近所と声を掛けあって

普段から隣り近所との協力体制を作っておきましょう。

### ●室内のガラスの破片に注意

裸足で歩き回らずスリッパなどをはいて行動するようにしましょう。



### ●正しい情報を聞こう

防災無線放送やラジオなどから正しい情報を聞き、誤った情報でパニックに陥ることのないように注意しましょう。

### ●避難は速やかに

土砂崩れの恐れがある場合や避難勧告が出された場合などは迷わず避難しましょう。



昼間の地震だと、家族がばらばらでお互いに連絡が取れない場合もあるので、前もって家族の役割分担や避難場所、連絡方法を決めておきましょう。

### 避難場所などを確認

南丹市では、地震や洪水、土砂災害などについてまとめた「南丹市総合防災ハザードマップ」を作成しています。

自分が住んでいる場所や地域にどのような危険があるのかを認識し、日頃から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



# 被災地の復興に向けて

## 被災地支援活動を実施

3月11日の地震発生から11月11日で8カ月が経過した東日本大震災。南丹市では、地震発生直後から、物的支援や人的支援などさまざまな支援活動を行ってきました。これまでの活動について報告します。

南丹市では、災害発生直後から京都府や京都府市長会などと連携を図りながら、給水活動や教育現場への支援、保健師の派遣を行ってきました。また、全町民が避難されている福島県浪江町へは、仮設住宅入居申請書の確認や割り当て、申請・入居に関する連絡など、市町村業務に対する支援を行っています。今回の震災に関連して派遣した職員の数は、61人（10月23日現在）になります。

### ○給水活動への派遣

- ・派遣先 岩手県陸前高田市
  - ・体制 7班（1班3〜4人）25人を派遣
  - ・期間 3月30日〜6月1日（ただし、4月15日〜5月12日の間を除く）
- ### ○保健師の派遣
- ・派遣先 福島県会津若松市
  - ・体制 3班・3人を派遣



▲仮設住宅の検査を手伝う南丹市職員

### ○教育支援への派遣

- ・派遣先 福島県新地町および馬市
- ・人員 1人
- ・期間 7月5日〜11日

・期間 4月8日〜5月7日（ただし、4月14日〜19日および4月26日〜5月1日の間を除く）

- 市町村業務支援への派遣
- ・派遣先 福島県二本松市（福島県浪江町役場）
- ・体制 16班（1班2人）32人を派遣

・期間 5月9日〜10月23日（ただし、8月15日〜20日の間を除く）

### ■物資支援

被災された方への生活支援の一環として、3月28日から4月7日の間、支援物資の受付を行い、市民の皆さんからお預かりした物資を、京都府を通じて被災地へ送付させていただきました。また、サージカルマスク9600枚を南相馬市へ直接送付しました。あわせて消防車を東松島市へ1台、亘理町へ2台提供しました。

### ○送付した物資

物 品	数 量
缶詰	327缶
簡易味噌汁など	1,937個
缶ジュース	579本
栄養調整食品	68個
カップラーメン	249食
レトルト食品	30食
漬物パック	920個
味付け海苔パック	385個
魚肉ソーセージ	120本
佃煮瓶詰め	45個

### ■義援金

3月15日から、被災された方への義援金を募り、本庁および各支所に募金箱を設置しました。10月28日現在の義援金総額は、622万6457円です。

# 給与を公表します

## (5) 級別職員の状況

職員数は、市の給与条例に基づく給料表の級区分によるものです。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事補、主事、一般技能職	21人	5.0%
2級	主事、一般技能職	75人	17.7%
3級	主査、主任、係長	173人	40.9%
4級	課長補佐	92人	21.8%
5級	課長	49人	11.6%
6級	次長	1人	0.2%
7級	部長	12人	2.8%
計		423人	100.0%

## (6) 職員手当の状況

区分	南丹市	国																												
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>●配偶者 13,000円</li> <li>●扶養家族1人につき 6,500円 配偶者がいない場合1人のみ 11,000円</li> <li>●満16歳～満22歳までの子1人につき 5,000円加算</li> </ul>	南丹市と同じ																												
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>●借家の場合 月額12,000円を超える家賃支払い者に対し、家賃月額により、月額27,000円を限度に支給</li> </ul>	南丹市と同じ																												
通勤手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通機関利用者は、55,000円を限度に全額を支給</li> <li>●交通用具利用者は、通勤距離に応じ支給</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>2km以上5km未満</td> <td>月額2,000円</td> <td>5km以上10km未満</td> <td>月額4,100円</td> </tr> <tr> <td>10km以上15km未満</td> <td>月額6,500円</td> <td>15km以上20km未満</td> <td>月額8,900円</td> </tr> <tr> <td>20km以上25km未満</td> <td>月額11,300円</td> <td>25km以上30km未満</td> <td>月額13,700円</td> </tr> <tr> <td>30km以上35km未満</td> <td>月額16,100円</td> <td>35km以上40km未満</td> <td>月額18,500円</td> </tr> <tr> <td>40km以上45km未満</td> <td>月額20,900円</td> <td>45km以上50km未満</td> <td>月額21,800円</td> </tr> <tr> <td>50km以上55km未満</td> <td>月額22,700円</td> <td>55km以上60km未満</td> <td>月額23,600円</td> </tr> <tr> <td>60km以上</td> <td>月額24,500円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	2km以上5km未満	月額2,000円	5km以上10km未満	月額4,100円	10km以上15km未満	月額6,500円	15km以上20km未満	月額8,900円	20km以上25km未満	月額11,300円	25km以上30km未満	月額13,700円	30km以上35km未満	月額16,100円	35km以上40km未満	月額18,500円	40km以上45km未満	月額20,900円	45km以上50km未満	月額21,800円	50km以上55km未満	月額22,700円	55km以上60km未満	月額23,600円	60km以上	月額24,500円			南丹市と同じ
2km以上5km未満	月額2,000円	5km以上10km未満	月額4,100円																											
10km以上15km未満	月額6,500円	15km以上20km未満	月額8,900円																											
20km以上25km未満	月額11,300円	25km以上30km未満	月額13,700円																											
30km以上35km未満	月額16,100円	35km以上40km未満	月額18,500円																											
40km以上45km未満	月額20,900円	45km以上50km未満	月額21,800円																											
50km以上55km未満	月額22,700円	55km以上60km未満	月額23,600円																											
60km以上	月額24,500円																													
管理職手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部長級 給料月額13.0%</li> <li>●次長級 給料月額11.0%</li> <li>●課長級 給料月額9.0%</li> </ul>	定額制																												
期末・勤勉手当	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>期末手当</th> <th>勤勉手当</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月期</td> <td>1.225月分 (1.025月分)</td> <td>0.675月分 (0.875月分)</td> <td>1.950月分 (1.950月分)</td> </tr> <tr> <td>12月期</td> <td>1.375月分 (1.175月分)</td> <td>0.675月分 (0.875月分)</td> <td>2.000月分 (2.000月分)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2.600月分 (2.250月分)</td> <td>1.350月分 (1.700月分)</td> <td>3.950月分 (3.950月分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり ※( )内は、管理職員の支給月数です。</p>	区分	期末手当	勤勉手当	合計	6月期	1.225月分 (1.025月分)	0.675月分 (0.875月分)	1.950月分 (1.950月分)	12月期	1.375月分 (1.175月分)	0.675月分 (0.875月分)	2.000月分 (2.000月分)	計	2.600月分 (2.250月分)	1.350月分 (1.700月分)	3.950月分 (3.950月分)	南丹市と同じ												
区分	期末手当	勤勉手当	合計																											
6月期	1.225月分 (1.025月分)	0.675月分 (0.875月分)	1.950月分 (1.950月分)																											
12月期	1.375月分 (1.175月分)	0.675月分 (0.875月分)	2.000月分 (2.000月分)																											
計	2.600月分 (2.250月分)	1.350月分 (1.700月分)	3.950月分 (3.950月分)																											

市職員に支給される給与は、国家公務員の給与などを参考にしながら、市議会の審議を経て条例や規則によって定められます。

市民の皆さんに、職員の給与などについて理解を深めていただくため、市職員の給与などの実態について平成23年4月1日現在の主な内容を公表します。

## (1) 人件費の状況(平成22年度普通会計決算見込)

住民基本台帳人口 (平成23年3月31日現在)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率 (B/A)
34,122人	22,358,971 千円	417,755 千円	3,039,774 千円	13.6%

※人件費には、特別職(常勤及び非常勤)・議員に支給される給料・報酬などを含みます。(事業費支弁人件費を含みます)  
普通会計とは、地方財政分析上統一的に用いられる会計区分で、一般会計、市営バス運行事業特別会計などの合計です。

## (2) 職員給与費の状況(平成23年度普通会計当初予算)

平成23年度の普通会計当初予算に計上された一般職員の給与費の状況は次のとおりです。

職員数 (A)	給与費				1人当たりの 給与額 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉 手当	計(B)	
386人	1,416,806 千円	211,188 千円	502,984 千円	2,130,978 千円	5,521 千円

※職員手当には退職手当を含みません。

## (3) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	43歳5カ月	312,071円	391,272円
技能労務職	54歳0カ月	297,588円	332,792円

※「平均給料月額」とは、平成23年4月1日現在における基本給の平均です。  
「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、通勤手当、住居手当など諸手当の額を合計したものです。

## (4) 一般行政職職員の初任給の状況

学校卒業後、ただちに採用された職員の初任給と、その後引き続き2年間勤務したときの給料月額は、次のとおりです。

区分	南丹市		国	
	初任給	2年目経過日	初任給	2年目経過日
大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

## (8) 職員数の状況

### 1. 部門別職員数の状況

部門	区分	職員数		対前年増減数
		平成22年度 (平成22年4月1日現在)	平成23年度 (平成23年4月1日現在)	
一般行政部門	議 会	5	5	
	総 務	93	91	△ 2
	税 務	22	22	
	民 生	108	105	△ 3
	衛 生	24	26	2
	農林水産	30	31	1
	商 工	8	8	
	土 木	42	39	△ 3
	小 計	332	327	△ 5
特別行政部門	教 育	61	59	△ 2
	消 防	-	-	
	小 計	61	59	△ 2
公営企業等会計部門	上 水 道	7	7	
	簡水・下水	14	14	
	そ の 他	20	16	△ 4
	小 計	41	37	△ 4
合 計		434 [472]	423 [436]	△ 11

※職員数は、一般職に属する全職員数です。[ ]内は、条例定数の合計です。

### 2. 年齢別職員構成の状況

区分	職員数(人)	職員数(人)		構成比(%)
		男	女	
20歳未満	1	1	0	0.2
20歳～23歳	12	5	7	2.8
24歳～27歳	11	6	5	2.6
28歳～31歳	18	9	9	4.3
32歳～35歳	52	29	23	12.3
36歳～39歳	81	45	36	19.2
40歳～43歳	48	25	23	11.4
44歳～47歳	45	26	19	10.6
48歳～51歳	70	42	28	16.5
52歳～55歳	49	29	20	11.6
56歳～59歳	36	23	13	8.5
合 計	423	240	183	100.0

## (9) 定員適正化計画の数値目標および進捗状況

南丹市では、平成19年4月に策定した「南丹市職員定員適正化計画」に基づき、職員数の適正化に取り組んでいます。

合併市である南丹市の職員数は、人口や産業構造が類似した他の自治体と比べても大きく上回っている現状ですが、厳しい行財政環境を踏まえ、事務事業の効率化、民間委託の推進などに積極的に取り組み、よりスリムな組織の確立を目指しています。

### 1. 定員適正化目標(数・率)

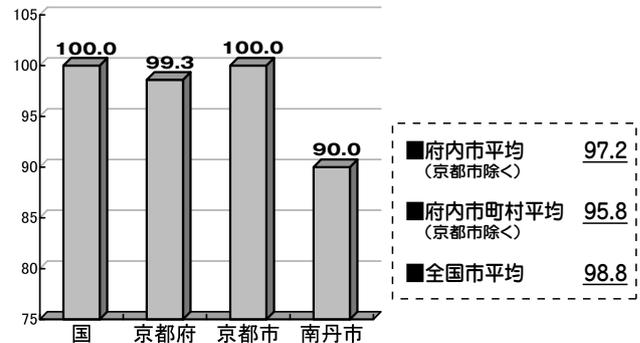
計画期間		数値目標
始 期	終 期	
平成19年4月1日	平成24年4月1日	平成19年4月に465人であった職員総数を、平成23年度末までに「8.2%」にあたる「38人」を削減することとしています。

### 2. 各年4月1日現在における定員の数値目標

平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
465人	459人	454人	447人	435人	427人

退職手当	自己都合	勸奨退職・定年退職	
	勤続20年	23.500月分	30.550月分
	勤続25年	33.500月分	41.340月分
	勤続35年	47.500月分	59.280月分
	最高限度額	59.280月分	59.280月分
・定年前早期退職特例措置あり(2%～30%加算) ※退職手当については、京都市府町村職員退職手当組合に加入しており、同組合の規定による支給率です。			
特殊勤務手当	区分	全職種	
	特殊勤務手当予算額	355,000円	
	職員全体に占める手当支給対象職員の割合	2.4%	
	給料総額に対する比率	0.01%	
	手当の種類(手当数)	2種類	
	代表的な手当の名称	伝染病防疫等作業手当・汚物処理作業手当	
※平成23年度の普通会計当初予算に計上された特殊勤務手当の状況です。			

## (参考) ラスパイレス指数の状況



※ラスパイレス指数とは、国家公務員の平均給与額を100.0として算定した時の地方公務員の平均給与額の指数です。

## (7) 特別職の報酬などの状況

行財政改革の一環として、理事者の給料月額を自主カットを行ってきましたが、特別職報酬等審議会の答申を受け、平成23年4月1日から、理事者の給料月額を改定しています。

議員報酬については、改定はなく、10%の報酬カットを継続しています。

区分	報酬等月額	期末手当支給割合
市 長	750,000円	6月期 1.40月分 12月期 1.55月分 計 2.95月分 (加算措置あり)
副 市 長	660,000円	
教 育 長	590,000円	
議 長	423,000円(470,000円)	
副 議 長	373,500円(415,000円)	
常任委員長	351,000円(390,000円)	
議会運営委員長	351,000円(390,000円)	
議 員	342,000円(380,000円)	

※( )内は、条例で定める額です。

退職手当	区分	算定方式	支給時期
	市 長	給料月額×任期1年につき530/100	任期毎に支給
	副市長	給料月額×任期1年につき315/100	任期毎に支給
	教育長	給料月額×任期1年につき270/100	任期毎に支給

※退職手当については、京都市府町村職員退職手当組合に加入しており、同組合の規定による支給率です。

# どもの主張大会

— 「ことばの力」の育成を目指して—

年生および、各中学校1～3年生の中から推薦された児童・生徒（各学校1人・合計21人）  
心から思ったこと、感銘を受けたことなどを飾り気のない言葉で主張しました。

「ありがとうございます。ありがとうございます。」おばあちゃんは、また今日も、この言葉を言っています。私のおばあちゃんは、福島県に住んでいました。でも、三月十一日の東日本大震災で家がこわれ園部の私の家にひなんしてきました。最初のころ



## 南丹市長賞

おばあちゃんのありがとう

南丹市立摩気小学校6年

仲 友里子さん

は、「友里子ちゃん、おばあちゃんは今も体がゆれて、ずうっと船に乗ってるみたいなんだよ。ほら、手がふるえて、字も書けないよ。」と言っていました。それぐらいい大きくて、おそろしい地震だったのです。その頃、おばあちゃんは、新聞やテレビでがれきの片づけや水を運んでくれるニュースなどを見ると、遠い場所の出来事でも、手を合わせたり、頭を下げてりして、「ありがとうございます。」と言っていました。

それを見ていて、私は気が付きました。おばあちゃんは、「ありがとうございます。」と言うたびに少しずつ明るく元気になってきたのです。どこかのだれかの、温かい気持ちがある。私のおばあちゃんの元気につながっていたのです。

震災から五か月、おばあちゃん



◀森教育長から表彰状を受け取る仲子さん

は、「福島に帰りたいなあ。」と言っています。それは、たくさんの方の温かい気持ちのおかげで、やっと元気になったからです。そして、やっぱり福島が大好きだからです。福島の言葉、景色、福島の全部が大好きだからです。私は今、半分さびしいけど、半分うれしいです。みなさんも、一緒に強く願ってください。ひ災されたたの方も、一日も早く元気になりますように。自分の町に帰れますように。

平成23年度

# 第1回 南丹市子

8月25日、日吉町生涯学習センターで第1回目がスタート。南丹市内の各小学校5・6が参加し、社会や世界に向けての意見、身の回りの出来事など選択したテーマに沿って、

「二年生、声小さいで。もっと出して！」私がクラブ中に必ず一度は言う言葉です。私が、女子バレー部のキャプテンを任されて約一年が経ちました。四月に加わった新一年生の人数は、なんと十一人。部員数はそれまでの八人から倍以上



## 南丹市長賞

### 怖い先輩

南丹市立園部中学校3年

桐 ちか子さん

上の十九人に増えました。しかし大人数になって嬉しい反面、私の心にはチームをまとめていけるのかという不安も渦巻いていたのです。いざ練習を始めると、心配していた通り一年生は動きが遅く、返事もしません。まだ敬語が使えず、何度注意しても声が小さい人もいました。

私達バレー部では、ルールやマナーを一年生に指導するのは二年生の役目です。それは三年生が引退してから二年生がしっかり指導できるようにするためです。しかし、二年生は一年生に甘く、全く何も言いません。そんな二年生に声を掛ける三年生もおらず、私自身もどこかしさを感しながらも自分の練習を優先してしまっていました。「私は自分のプレーに集中したい。指導をするのは二年生に決

まっているのだから。」そんな風に入任せな気持ちで、チームに漂う悪いムードを見て見ぬふりをしていたので。そんな私の心を見透かしたかのように徐々に一年生が声を出さなくても誰も注意しなくなっていました。

このような状態が何日か続いたある日、顧問の先生はおっしゃいました。「あなたたちは、一年生は何も分らないのに、何でほったらかしなん？一年生は声が全然出てないのに何で何も言わないの？あなたたちは今までどうやって、誰に育ててきてもらったん？あなたたちが今こうしてられるのはあの厳しくて怖い先輩がいたからじゃないの？」と。

私はハッとしました。思い出したのです。私が今こうしてられるのは、私達が一年生のときにいた怖い怖い先輩のおかげなのだ。

一年生の頃、練習試合でボールケースを忘れたときには、「練習は何を使ってするの？それにボールを貸してもらえばそれだけ、他校の方に迷惑をかけることにもなるんやで！」準備が遅いとミーティングで「少ない練習時間を、もっと短くしてしまうのも充実したものにするのも、それは自分たちの準備次第でしょ！」普段の練習で

も、声が小さいと一人ずつ大きな声が出るまで怒られたことが何度もありました。数え切れないほどの先輩からの声。そんなとき、いつも添えられていたのは「二年生は先輩に伝える。一年生は分からないことがあったら聞く。それを放っておくということは、チームの成長を捨ててしまうってことなのよ。」という言葉でした。

たくさん叱られ、本当に怖かった先輩。ですが、そのおかげで今、チームに足りないのは何か、必要なことは何なのか分かります。それなのに、私は初めから教えることをせず、変わらないとあきらめてしまっていたのです。顧問の先生の一言で、それまでこもっていた自分だけの世界を打ち破りチーム全体を考える視点が得られたような気がしました。

翌日、私は二、三年生を集め、「一年生のために、もっと厳しく注意していこう。」とかつて先輩がそうであったように、強い心で呼びかけました。それからは私自身やチームメイトの声が体育館中に響きわたっています。「大きい声出して！自分たちも練習しているときに声を出してもらったら嬉しいやろ。」

「ボール拾いは素早く走って。転がったボールに気づかない人が踏

んだら危ないから。」初めは「はい！」という返事の声も聞こえませんでした。先輩のことを思い出して何度も何度もこれからのチームのために声をかけ続けました。今では二、三年生が一丸となつて一年生を引っ張る姿が練習のあたり前の風景になっています。すると、一年生から徐々に声が出てきました。それだけでなく、自然と靴や鞆を揃えるなど、チームを良くしようという雰囲気から一年生から生まれるようになったのです。後に練習の成果や課題を書くクラブノートに「先輩の言葉を忘れないで実践する！私達もチームを支える一員！」と一年生が毎日書いてくれていたことを知りました。

先輩は日に日に逞しく成長しています。そんな姿を見るのが本当に嬉しい。こんな風に思える私自身が、最も変わったのかもしれない。それまでの受け身の弱い心を捨て、強い心を持って自分自身が行動することで、ようやく本当の先輩になれた気がしました。

人は楽なほうに逃げてしまいがちです。厳しい指摘によって摩擦が生じ、衝突することだってあります。ですが、そこから逃げ、恐れていては成長はありません。真摯な気持ちがあるからこそ、勇気

と思いをやりを持って伝えることが必要なのだと思います。怖い先輩の一声一声はチームへの叱咤激励、「もっと成長しよう」とみんなを鼓舞する声だったのです。それが今、分かったような気がします。

残り少ない時期になりましたが、私はクラブの伝統を引き継ぎ、最後までチームをリードしていきます。「とびっきり厳しくて怖い先輩」として。

▲森教育長から表彰状を受け取る桐さん



# 上位入賞者の皆さん

## ◆南丹市長賞◆

- ・「おばあちゃんのありがとう」
- ・「怖～い先輩」

南丹市立摩気小学校 6年  
南丹市立園部中学校 3年

仲 友里子 さん  
桐 ちか子 さん

## ◆南丹市教育長賞◆

- ・「当たり前だけだとすてきなこと」
- ・「必ず大きな力と自信に」

南丹市立富本小学校 6年  
南丹市立美山中学校 3年

人見 幸那 さん  
安野 有紀 さん

## ◆南丹市青少年育成協会会長賞◆

- ・「家族といるといこと」

南丹市立平屋小学校 6年

長野 凌真 さん

## ◆南丹市小学校校長会会長賞◆

- ・「あたり前のことが守れるように」

南丹市立園部第二小学校 6年

主原 優香 さん

## ◆南丹市中学校校長会会長賞◆

- ・「今、すばらしき時代のために」

南丹市立八木中学校 3年

堀 桜子 さん

## ◆南丹市PTA連絡協議会会長賞◆

- ・「私たちと人権」

南丹市立殿田中学校 3年

鳥井 幸 さん

## 第33回『少年の主張』京都府大会～わたしの主張2011～

9月25日、京都子ども文化会館で行われ、府内24校301人の応募の中から事前審査で選ばれた14人（南丹市内から5人）が、心からの思いや考え、感銘を受けたことなどを自由に発表しました。

南丹市立中学校からの入賞者は、次の皆さんです。

## ◇京都府青少年育成協会会長賞◇

- ・「長女だから」

南丹市立園部中学校 3年

中井 美希 さん

## ◇京都府PTA協議会会長賞◇

- ・「そのゴミの行方」

南丹市立美山中学校 3年

江藤 つぐみ さん

## ◇京都新聞社賞◇

- ・「大きな力」

南丹市立園部中学校 3年

船越 美里 さん

## ◇京都府青少年育成協会会長奨励賞◇

- ・「今、すばらしき時代のために」
- ・「怖～い先輩」

南丹市立八木中学校 3年  
南丹市立園部中学校 3年

堀 桜子 さん  
桐 ちか子 さん

# 行政 トピックス



全国974番目の「道の駅」  
さらに愛される施設目指す

—スプリングスひよし

「道の駅」としてオープン—

温泉や、レストランなどの複合施設「スプリングスひよし」が、南丹市内で3番目となる「道の駅」として10月1日にオープンしました。スプリングスひよしは、地域振興や健康増進などを目的



▲道の駅オープンのテープカットをする関係者

に、レストランや特産品販売所、温泉、プール、体育館などを併設して平成10年に開業。年間35万人を超える来場がある中、さらなる集客を目指し、道の駅としての認定を受けたものです。駅長となった日吉ふるさと株式会社営業部長の中川亮さんは、セレモニーの中で「地域の皆さんと力をあわせ、地域活性化のために取り組んでいきたい」とあいさつされました。

また、9月17日、スプリングスひよしの温泉とプールの入場者数が300万人を突破。300万人目となった日吉町志和賀の山口恵子さんには、花東や地元特産品の詰め合わせ、温泉招待券が送られました。



▲300万人目となった山口さんに花束贈呈

## 交通安全・今後の方針策定

—第2次南丹市  
交通安全計画を策定—

9月15日、「第2次南丹市交通安全計画」を策定。9月2日に開催した南丹市交通安全対策審議会での審議を経て策定に至った当該計画は、平成23年から平成27年の5年間を期間とし、交通安全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱としての役割を担います。今後、当該計画に基づき、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、交通を取り巻く環境や地域の実情を踏まえ、安全で円滑・快適な交通社会を実現することを目指します。



▲答申を行う関岡勉会長（中央）と堀川勝久副会長（左）

## 建設業界の模範企業を表彰

—平成23年度南丹市  
優良建設工事表彰—

平成22年度に竣工し、他の模範となる優れた工事を施工した、株式会社国元組、有限会社坂本組、明清建設工業株式会社、寺尾道路株式会社社の4社に8月25日、表彰状を授与。佐々木市長は「皆さんの努力により、年々工事成績評定が良くなっている。建設業界の模範として引き続きご尽力ください」と述べ、受賞者は「今後も技術力の向上、安全な工事施工に努めたい」と答えられました。



▲受賞者（中央4者）と理事者

## 集落の維持・活性化に向けて

—平成23年度集落支援員  
キックオフ研修会—

市の全集落のうち、16集落が65歳以上の人口比50%以上の限界集落、94集落が55歳以上の人口比50%以上の準限界集落となっています。今後も過疎化や高齢化が進むことが予想されることから、「集落支援員」を設置し、集落の維持および活性化を図ります。集落支援員は、次の皆さんにお願いしています。

担当地区	氏名
園部地域	小寺 貞明
八木地域	徳見 晃
日吉地域	吉田 進
美山地域	中井 洋
美山地域	大東 豊

(順不同・敬称略)

### ▼集落支援員の主な活動

- ・集落の巡回、点検による課題の把握
- ・集落の維持、活性化のための助言や支援
- ・住民、行政、集落の連絡調整など



▲集落支援員キックオフ研修会の様子

9月27日、5人の委員をはじめ、府職員や市担当者など14人が参加し、初の研修会を市役所本庁で開催。市内における集落の現状紹介や今後の集落のあり方などについて意見交換が行われました。佐々木市長は「住民の主体性を尊重し、市民と行政のパイプ役としてご活躍をお願いしたい」とあいさつし、支援員の方は「集落独自の『声』を拾い上げることに尽力したい」と決意を述べられました。集落支援員の皆さんには、今年の10月から集落点検、実態調査などを実施していただき、来年度から集落のあり方について話し合うなど、集落の維持、活性化を進めていただきます。

## つながり、互いに助け合い つながり、みんなで長生き

—ひとり暮らし高齢者の集い—

10月12日、南丹市国際交流会館で園部町民生児童委員協議会と、南丹市社会福祉協議会園部支所の共催で、「ひとり暮らし高齢者の集い」が開催。園部町に住む70歳以上の一人暮らしの方92人が参加。参加者は、ボランティアグループ「ぼぼたん」の歌に合わせて体操したり、民生児童委員協議会女性部のハーモニカ演奏に合わせて歌ったりする中で、普段話す機会がない人とも気さくに交流し、親睦を深めました。

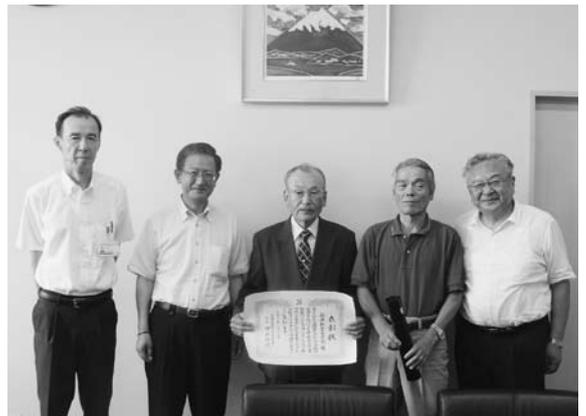


▲「ぼぼたん」の2人の歌に合わせて体を動かす参加者

## 自主的・継続的な活動を評価

—近畿ブロック林業グループ  
コンクール—

8月25日、林業グループコンクールに、「船井林業友の会」が京都府代表として参加され、最優秀賞を受賞。来年2月に東京で開催される全国コンクールに近畿ブロック代表として出場することを決められました。当団体は、林業技術の習得、林業経営の研究改善、特用林産物の生産などの普及啓発、林業所得の増大を図ることを目的に活動されており、コンクールでは、活動の自主性、継続性が高く評価されました。



▲受賞報告を行う今西肇会長（中央）と廣瀬傳次副会長（中央右）

## 伝統・力・心の演奏が響く

―第6回なんたん

―ビートフェスティバル―

10月15日、ふるさとの地太鼓祭り「ビートフェスティバル」を、園部公民館大ホールで開催しました。今回は、市内の6つの小学校と、府立淇陽学校、1つの和太鼓サークルの総勢220人が参加。祭りばやしや創作曲など、和太鼓の迫力ある演奏を19曲披露しました。会場を訪れた観客の多くは、そろいの衣装にはちまき姿の演者が奏でる一糸乱れぬ演奏と、和太鼓が放つ独特の響きに感動していました。



▲呼吸を合わせて演奏する園部第二小学校の生徒



▲来場者に説明をする職員

## 平成台の良さを現地で体感

―平成台販売促進イベント

―「平成台祭り」―

平成台の市有地販売促進を目的として、9月24日、25日の両日「平成台秋祭り」を開催。市内外から多くの方が来場されました。建築条件付き土地分譲の協定を締結する住宅ハウスメーカー5社の説明ブースを併設し、土地の購入や建物プランニングの相談にのるほか、地元産品の即売会や起震車による地震体験、カプトムシ争奪じゃんけん大会などを実施。市外の方にも、平成台を知っていただく良い機会となりました。

## ねらいを定め、的を射抜く

―全京都障害者総合スポーツ大会  
アーチェリー大会―

9月25日、京都障害者スポーツ振興会設立40周年記念となるスポーツ大会が、日吉総合運動広場で開催され、府内各地から39人の選手が出場。日頃の練習成果を競いました。競技は、障がいや競技会の経験、力量などにより部門が分けられ、選手は出場部門を選択して出場することができます。南丹市からは5人が参加され、初級者内部障がいの部に出場された吉野隆さん(日吉町)が大会新記録の成績を収められました。



▲真剣な面持ちで矢を構える吉野さん(左から2人目)



▲映画鑑賞をする参加者

## 思いやり・人権の大切さ学ぶ

―2011 なんたん

―ヒューマンシネマ―

8月の人権強調月間の事業として9月10日、園部公民館大ホールで、映画「典子は、今」(松山善三監督作品、辻典子主演)の鑑賞会を開催。当作品は、サリドマイド児の一人である辻さんの出生から青春までを描いたもので、障がいを乗り越え、能力を発揮し、社会に貢献する辻さんの姿が描かれています。173人の参加者があり、一人一人を尊重し認め合うこと、他人を思いやることの大切さを考える機会となりました。

## 地域の安全はみんなの力で

—平成23年度全国地域安全運動  
広報啓発行事—

10月11日から実施された「全国地域安全運動」を前に、10月10日、出発式およびマーチングパレードを実施。南丹船井防犯協会会員や南丹船井防犯推進委員協議会会員、民生児童委員などが参加しました。南丹市国際交流会館玄関前で式典が行われたあと、「みんなのでつくろ安心の街」の横断幕を先頭に、園部高等学校吹奏楽部生徒の演奏にあわせ、園部公園入り口から園部町本町を経由して南丹警察署駐車場まで約800メートルを行進しました。



▲横断幕を先頭にパレードをする参加者



▲南丹市出身者の英霊に献花を行う参列者

## 尊い犠牲に誓う恒久の平和

—南丹市戦没者追悼式—

10月20日、平成23年度南丹市戦没者追悼式を園部公民館大ホールで挙行。遺族358人など関係者が参列され、先の大戦により犠牲になられた南丹市出身者の英霊1886柱に黙とうをささげました。南丹市遺族会を代表して清水隆会長が、「今日の平和と繁栄はご英霊の犠牲の上に築かれたものであることを次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に貢献します」と追悼の言葉を述べられました。その後、参列者全員が献花を行い、戦没者の冥福を祈りました。

## 誰でもできるボランティア わがまちを思う心を実行に

—赤い羽根共同募金運動—

今年で65回目となる「赤い羽根共同募金運動」が、10月1日から12月31日まで全国一斉に実施されています。南丹市でも10月3日に市内8カ所で街頭啓発を実施。集まった寄付金の約70%が、次年度に京都府共同募金会から各市町村に分配されます。南丹市共同募金委員会では、この寄付金を、障がい者福祉の充実や子どもへの健全育成、ボランティアグループ、福祉団体・施設への活動支援などに活用しています。



▲親子で募金にご協力いただきました



▲浄化施設の中をのぞき込む親子

## 施設公開 来場した親子ら 汚水処理の方法などを学ぶ

—南丹浄化センター施設公開—

8月27日、南丹浄化センターの施設公開が行われました。同センターは、園部、八木地域の汚水を処理している施設で、下水道に関する理解を深めてもらおうと、京都府の主催で毎年行われています。来場者は、施設内で汚水処理の仕組みや微生物が汚水を除去する様子を学んだ後、ごみや泥を取り除く沈殿池など施設内を見学しました。また、処理施設に関するクイズラリーや鳥の巣箱の工作なども行われました。

# たくさんの人々の心で紡がれた9日間

「国民文化祭・京都2011」は、10月29日（土）から11月6日（日）までの期間に、京都府内すべての市町村で約70にも及ぶイベントが開催されました。南丹市では、9日間の期間を通して、大人から子どもまで、そしてアマチュアからプロまで、さまざまな立場で「ものづくり」に携わる皆さんの多くの作品展示と、各種イベントを実施しました。

南丹市ならではの文化が開花

国民文化祭。

京都2011開催



▲創立65周年を記念する京都工芸美術作家協会展～今日から明日へ～が開催されました



▲9月17日(土)には、美術展「工芸」の審査会が開催されました



▲府立農芸高校、北桑田高校の生徒の皆さんによるモニュメントが、園部駅西口で来訪者をお迎えしました



▲工房と里の秋めぐり「里の秋マップ」

10月29日から11月6日まで、京都府内全域で開催された「国民文化祭・京都2011」は、多くの人々が参加し、各地で盛大に開催されました。

南丹市会場では、主催事業の「美術展・工芸」の展示会場となった市立文化博物館や南丹市国際交流会館を中心に、「南丹市らしさ」をアピールしながら多彩な催しを展開し、市内外から多くの皆さんにご参加いただきました。

国民文化祭については、次号で詳しく報告します。

みんなで描こう

# 協働のキャンバス



みんなでつくる

まちづくりの  
南丹ルール

みんなで考える

⑦

皆さんこんにちは、地域振興課協働推進係です。このコーナーでは市民協働・市民参加に関するさまざまな情報を市民の皆さんにお届けします。今回は、先日からなんたんテレビで放映の南丹市らしき発見物語「市民協働のススメ」についてご紹介します。

## 市内のさまざまな取り組みを分かりやすくお伝えします

南丹らしき発見物語「市民協働のススメ」 なんたんテレビで 毎月第2木曜日から1週間放映

皆さん、もうご覧いただきましたか？南丹らしき発見物語～「市民協働のススメ」～。9月29日からなんたんテレビで放映を開始しています。番組の内容は、南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金を活用して市内で活動を進めていただいている市民団体などの紹介や取り組みなどを分かりやすく紹介するものです。

また、その番組のレポーターには南丹市在住の学生の皆さんに登場してもらい、市民レポーターとして学生の目線で質問を投げ掛けています。

また、取り組みによっては飛び入り参加をしたり、体験をしたりと番組から楽しさが伝わってくると思います。

ぜひ一度番組をご覧ください。南丹市のホームページからもご覧いただけます。



▲八木小学校での取り組みを撮影する撮影クルー

## 南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金（後期募集分）の実施事業内容

9月1日から9月30日までの間に募集を行っていた平成23年度南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金後期分については、新たに7件の提案をいただきました。10月4日に開催した審査会の結果、全事業の実施が決定しました。

### 自由提案型

- 南丹☆学生の祭典2011～つなごう南丹、がんばろうニッポン～（マイサウンドプロデュース）  
学生同士の交流や、学生と地域との交流を促進し、「学生のまち」としての活性化を図る。
- 殿田の大火から学ぶ・災害に強いまちづくり（殿田区）  
70年前の大火に関する情報を整理し、防災情報とともに展示する。また、記念講演も開催し防災意識の向上を図る。
- 2011八木ロックフェスティバルVol.2（歌聴風月実行委員会）  
地域・年代を超えた交流の場を設け、そのイベントを通して自然環境や大堰川のよさをアピールする。

### 課題設定型

- 景観を活かしたまちづくり（宮島振興会）  
美山エリアの観光資源である、豊かな自然や、かやぶき屋根の民家の保全、保護活動を北集落に学び、地域に定着させ地域の振興を図る。
- 公園・緑地保全の維持管理活動高齢者集落活性化対策（百日紅の里・福居）  
登山道の道しるべの役割を果たしている百日紅公園の管理を中心として、大学との連携や地域間の交流を図る。
- 桜で地域をつなごう（生畑開発委員会）  
「桜で地域をつなごう」を合言葉に生畑地域から桜の植樹を行う。目指すは生畑千本桜！
- 陶工の郷・美山陶芸体験プロジェクト（NPO法人 美山里山舎・壬生京町家）  
NPO法人美山里山舎のゲストハウスを拠点に、陶芸体験を主軸としたワークショップを開催し、美山の魅力を発信していく。

市民参加と協働の推進に関することは 地域振興課 0771-68-0019まで

# いきいき南丹

-46-

お元気ですか？  
栄養士です。



## 増えている糖尿病をストップ

～糖尿病の少ない元気なまちであるために～

11月8日から一週間は、「全国糖尿病週間」そして、11月14日は「世界糖尿病デー」です。

2010年の世界の糖尿病人口は、2億8500万人、現在日本の糖尿病人口は、1300万人を超えると言われており、総人口の10パーセントを超えてしまうほど糖尿病患者は増加しています。

### ■南丹市でも増えている糖尿病

国民健康保険疾病分類統計5月分によると、高血圧性疾患が3年連続1位を占めています。糖尿病も必ず上位に入っています。また、平成22年度南丹市の特定健診受診者2451人のうち、すでに糖尿病治療中の方は、114人（12・6％）で、受診者の10パーセント以上を占めています。

### ■糖尿病を予防するために

あなたは糖尿病になりやすい生活をしていませんか？

当てはまる項目に☑してみましよう。

### 食生活チェック

- 朝食は食べない。
- 食事の時間が不規則。
- 夕食は遅く、多く食べる。
- 毎食、食べ過ぎる。
- 脂っこいものをよく食べる。
- おやつを毎日食べる。
- 野菜や海藻類をあまり食べない。
- ドリンク剤、ジュース類、アルコールをよく飲む。
- 運動不足である。

4つ以上チェックがついた方は要注意！

糖尿病は生活習慣の積み重ねが原因の多くとなっています。食事の偏りを防ぎ、規則正しい生活リズムをつくるのが大切です。

### ■今日からできる食事のポイント

#### 【食べ過ぎを防ぐために】

- ・一人ずつ取り分けましょう。
- ・できるだけ時間を決め、ゆっくりに、よく噛みましょう。
- ・素材の味を生かし、薄味にしましょう。

#### 【野菜をしっかり摂取しよう】

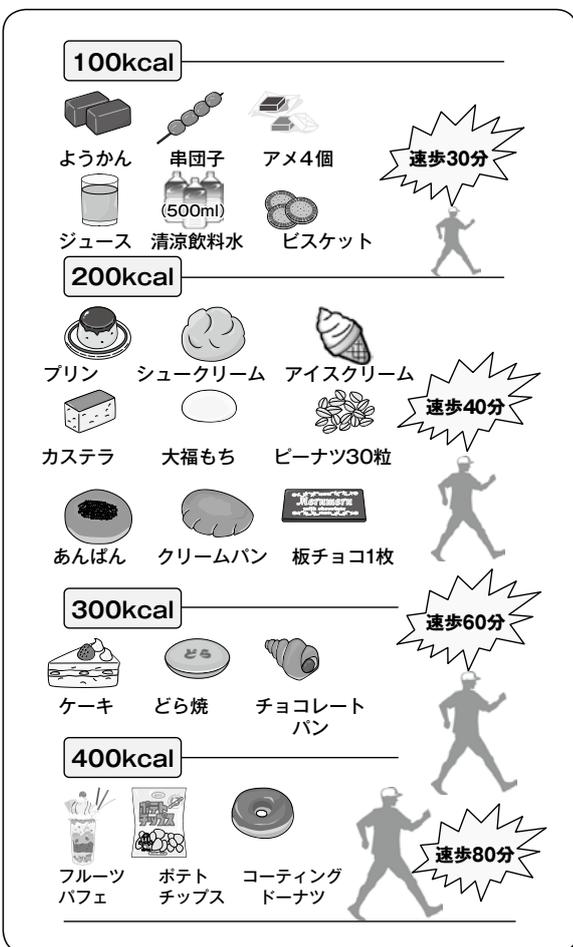
1日350gが目標準です。小鉢（1皿70g）なら5皿程度です。野菜の食物繊維が脂肪を吸収し、排泄を促す働きがあります。また満腹感も満たしてくれる優れた食材です。しっかりと野菜を摂取し、糖尿病を予防しましょう。

### 【お菓子や飲料の適量とは】

食事制限や食事療法をされている方を除き、1日の菓子類の適量は、一般的に約200キロカロリー以内と言われています。図を参考に、適量を摂取しよう。心掛けた場合は、それに見合った運動を心掛けましょう。

糖尿病は、完治させることは難しいですが、上手に付き合うとコントロール可能な病気です。分かっているけれどなかなか生活習慣を改善できない方も、今日からぜひ見直してみませんか？

### お菓子・飲料水のエネルギー(図)



**知** 井小

井小中学校は、全校児童30人の極小規模校です。校区にはかやぶきの里や京都大学研究林などがあり、人々の豊かな営みと美しい自然に恵まれた地域です。少子・高齢化の中で地域振興の活動が盛んで、府内で唯一山村留学制度を実施し、留学生が山村留学センターや里親宅で生活しながら、本校で学んでいます。留学生の多くは、近隣府県から来ており、14年間で100人を超えています。

**少** 子化

子化が進み、留学生が占める割合が高くなり、1年ごとに全校集団が変わる状況となり、毎年新しい仲間を迎えての学級づくり・仲間づくりを重ねています。

そんな中、子ども同士のつながりを深め、思いやりの心を育てる教育活動、また、ふるさとを知り、誇りをもてるような教育活動を進めています。

今秋の運動会では、全校児童の表現運動で最終演技を締めくくり、全員が一つになった姿に保護者や地域の皆さんから感動の拍手をいただきました。「一人一人がかけがえない仲間」と、児童たちが

一体感を感じた瞬間だったと思います。

**互** いに

励まし合い、一つのことを成し遂げることで、より良い関係を築くことができます。

周囲の人からの声掛け、あいさつをはじめ、ふるさとを見つめる学習や高齢者とのふれあい活動などを通して地域の人から学び、人々とのつながりや温かさを感じることでしょう。これらのことが「自分は愛されているから他人も大切にしよう」という人間愛、郷土愛を育み、学ぶ力・つながる力の土壌となると考えています。子どもたちが仲間と共に学び合い、自らの進む道を拓く人間に育ちゆく一助になりたいと考えています。



(知井小学校 人権教育主任

稲葉 学)

環・境・市・民

感激!

★ エコ発見



エコちゃん 第22回

刑部ふれあいサロンは、平成17年4月から公民館の有効活用とお年寄りや子どもたちの居場所づくりを目的に、毎月1回「ふれあいセンター刑部」で行われています。環境学習会やエコ小物作りから始まり、今では、昔ながらの茶葉作りやしめ縄作りも行われています。また、グリーンカーテンから収穫したゴーヤで作る料理教室や、ゲー



トボールなどのスポーツに挑戦するなど多彩な活動内容。サロンで何をするかを決めるのはメンバー自身。互いに教え合い、アイデアを

出し合う。そんな気軽な交流の場がサロン参加者の元気の源になっています。

今回のエコロジスト 刑部ふれあいサロン代表

芦田美子さん (八木町刑部)



芦田さんがふれあいサロンを始めるときつ

けとなったのは、当時八木町で実施した公民館の環境講座。講座を受講し、自分の住む地域の環境は自分たちで守りたいと強く思われたそうです。「今こうしてサロンが続けられているのも、準備を手伝ってくれる人や意見を出してくれる人がたくさんいるおかげです。毎回15人くらいが集まり、環境にこだわらず、いろんなことに挑戦して、お互いに元気をもらっています」。9月のサロンでは、新聞でエコバッグ作りに挑戦しました。和やかな雰囲気の中、皆さん楽しく活動し、お気に入り作品を作りました。(環境課)



上半期、一般書のベストリーダーは「プラチナデータ」

上半期の一般書のベストリーダーは、東野圭吾の「プラチナデータ」、2位は同じく「麒麟の翼」、上位10位の16冊のうち6冊は東野圭吾の本でした。著者の人気のすごさを伺わせませす。

また、児童書のトップは、「冷凍食品のひみつ」ですが、上位10冊のうち7冊が「かいけつゾロリシリーズ」です。主人公「ゾロリ」は、泥棒が職業という悪者ではあるけれど、少し

間が抜けていて、子どもたちに愛されるキャラクターです。図書館の資料は、持ち出し禁止のものでない限り各図書館に取り寄せて借りることができるので、カウンターでお申し込みください。

いよいよ読書の秋も終盤を迎えます。心地よい場所でお気に入りの1冊をぜひお読みください。各図書館・室ではそれぞれ工夫を凝らして皆さんのお越しをお待ちしています。

新刊紹介



『マスカレードホテル』

作 東野圭吾  
発行 講談社・刊

不可解な連続殺人事件。次の犯行現場は超一流ホテル・コルテシア東京と割り出され、警察は潜入捜査を開始する。容疑者も、ターゲットも不明の中、事件解決のため一人の男が選ばれる…。

上半期ベストリーダー (一般書)			
	書名	著者	回数
1	プラチナデータ	東野圭吾/著	36
2	麒麟の翼	東野圭吾/著	35
3	阪急電車	有川浩/著	32
4	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾/著	31
5	花の鎖	湊かなえ/著	30
6	新参者	東野圭吾/著	28
7	三十光年の星たち 上	宮本輝/著	25
8	やぶへび	大沢昌昌/著	24
8	流星の絆	東野圭吾/著	24

暮らしとホツと

—第16回—  
消費生活情報

「子どもの火遊びを防ぐ」  
ライターの販売規制完全実施

子どもの火遊びによる火災が後を絶ちません。これまでライターによる火災で、死亡や大けどに至る痛ましい事故が多く発生。東京都の調査によると、東京消防庁管内で平成11年から10年間で12歳以下の子どもによるライターでの火災は511件発生しています。

「PSCマークのライターを  
使いましょう！」

火遊びによる事故を防ぐため、平成23年9月27日から、いわゆる「使い捨てライター」や「多目的ライター」でPSCマークのないものは完全に販売禁止となりました。



PSCマーク  
見本

このPSCマークがあるライターは、子どもの力では押せないように着火スイッチが重くなっていたり、ストッパーなどの安全装置が組み込まれており、子どもが簡単に操作できない幼児対策（チャイルドレジスタンス）機能を施すなどの技術基準に適合したものとなっています。子どもの安全のために、PSCマークの付いたライターを選びましょう。

「家庭での使い捨てライターの  
取り扱いにご注意を！」

これまでの使い捨てライターなど、不要なライターはなるべく早く処分しましょう。処分の際は、中身を使い切るか、またはガス抜きしてビニール類（使い捨てライターの場合）で出しましょう。

PSCマークのあるライターであっても、子どもの目に触れず、手の届かない場所に管理することを徹底してください。また、子どもには日頃から火災の怖さや、火遊びの危険性を教えましょう。

■ 商工観光課  
TEL 0771 (68) 0100



## あっ!と驚くアトラクション! ～園部マジック同好会～

園部マジック同好会は平成2年に発足し、社会福祉関係の施設でのイベントをはじめ、敬老会や子ども会など、市内外で幅広く活躍されています。メンバーは、園部町にお住まいのマジックに興味のある14人の方々と、その年齢層は幅広く、職業もサラリーマンや主婦、定年退職された方などさまざまな方が参加されています。

平成13年には、「第50回京都府社会福祉大会」において京都府知事表彰を受賞。また、「新園部町発足45周年記念式典」で京都府社会福祉協議会会長表彰を受賞されるなど、実績も豊富です。

各自で練習し習得したマジックを披露されている園部マジック同



▲例会でのネタのリハーサルの様子

### 毎月1回の例会

9月10日に開催された例会では、各区の敬老会で披露するマジックのネタの打ち合わせや人員配置などについて話し合いました。

しゃべりを含めた出演時間や出演順、BGMの選曲、道具の割り振りなど細かい部分まで確認を行いました。練習成果を楽しそうに披露する中で、「小さい道具は、離れると見えづらいのではないかなど、さまざまな意見を出し合い、参加するイベントを盛り上げるために試行錯誤するメンバーの皆さんの姿がありました。

### ～11月の予定～

- 11月13日 (日)  
園部町大西区敬老会 大西区公民館
- 11月20日 (日)  
日吉町佐々江区敬老会 スプリングスひよし

他にも、いろいろな場所でマジックを披露しています。出演をご希望の方は、お気軽に下記までご連絡ください。

園部マジック同好会  
代表：上野 嘉雄  
TEL：0771-62-1652



▲敬老会でマジックを披露し、拍手をもらう中村洋子さん

好会の皆さんは、毎月1回例会を開き、リハーサルを行います。今年も、9月は敬老会などで1日に数件出演依頼があるなど大忙し。

メンバーが手分けして盛り上げに向かいました。メンバーの皆さんは、マジックに「しゃべり」は付き物と考え、旬の楽しい話を準備するなど細かい努力も欠かしません。代表の上野さんは、「今年も各区の敬老会で、お年寄りの皆さんに笑ったり、驚いたりしていただいた。本来自分も敬老会に招かれる年齢だが、皆さんに楽しんでいただけて、また出演依頼をいただくことが何よりうれしい」とやりがいを語ってくださいました。

楽しい話、驚かせる技術に加え、メンバーの皆さんの温かな人柄が観客の心を引き付けるのかもしれない。

南丹市国際交流協会などが主催した国際交流事業が八木町内で開催。今年度で3回目を迎え、府内に住むフランス、インドなどの留学生12人が参加しました。午前中は、日本独自の雰囲気が残る八木酒造を見学した後、大堰川でカヌーの乗艇を体験。初体験の参加者もすぐにパドル操作に慣れ、軽やかに水面を移動していました。午後からは、大堰川緑地公園で、八木町グラウンドゴルフ協会の皆さんと昼食を共にした後、グラウンドゴルフをプレー。大学生活などの話を花を咲かせ、スコアを競う中で、日本文化に触れる楽しいひと時を過ごしました。



▲用意された昼食のカレーをみんなで食べました

## 「留学生・南丹市で日本の文化を満喫」

(10/8) フィールドトリップinなんたん

## みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲山伏の祈禱に感謝して大和舞を舞う女神(能「葛城」)

降雨のため美山文化ホールで開催された美山かやぶき薪能。市内外から来られた約350人が、狂言と能を鑑賞されました。

狂言は「附子」が、能は「葛城」が演じられました。また、開演に先立ち、8月下旬から稽古を積んできた地元小中学生が能を披露。観客席から大きな喝采を受けていました。なお、当日出演した美山中学校1年生の黒田秋さんは、11月6日に京都会館第1ホールで行われた、第26回国民文化祭・京都2011の閉会式グランドフィナーレにも出演されました。



▲能「岩船」を演じる黒田さん

## 「拍手喝采！地元小中生も能楽披露」

(9/17) 第11回能楽の夕べ「美山かやぶき薪能」

## 「農業を中心とした多様な活動が評価」

(10/25) 豊かなむらづくり全国表彰事業



◀「なごみ農園」の前での現地調査の様子

農林水産省が農林漁業の振興を核に、生活や文化などを含む幅広い地域活動を表彰する「豊かなむらづくり全国表彰事業」近畿ブロックで、日吉町殿田の農事組合法人大向営農組合が近畿農政局長賞を受賞されました。農業の継続が困難な中、法人化、水稻・黒大豆の栽培や体験農園の開設、また地域住民の交流による活性化イベントに主体的に参画しました。地域づくりの中心的な役割を担う活動内容が、高く評価されました。



▲倒木やごみを撤去する参加者

芦生自然学校や地元漁業組合の組合員、佛教大学の学生ら35人が参加して、美山クリーンリバー作戦が行われました。今回は棚野川の清掃活動を実施。早朝から、旭橋を起点に下流方向へ作業を開始しました。午後からは、砂本地区から下流に下る班と由良川合流地点から上流へ向かう班に分かれ作業を実施。例年に比べ不法投棄物は少なかったものの、それでも倒木やビニールごみなど軽トラック10台分のごみが集められました。

9/10 美山クリーンリバー作戦

## 「不法投棄を無くして川をきれいに」

第11回「星をもとめて」が、り溪温泉ポテポテパーク一帯で2日間にわたって開催され、京都府内外から約500人の天文ファンが集まりました。初日の午後は、太陽の観察会が行われ、特殊な望遠鏡で普段見ることのできない太陽の黒点やプロミネンスなどを観察しました。また、望遠鏡工作教室では多くの親子連れがケプラー式望遠鏡を完成させました。日が暮れてからは、参加者が持参したさまざまな望遠鏡で星の観察を楽しみました。



▲特殊な望遠鏡で太陽の観察を行う参加者

9/18~19 第11回「星をもとめて」

## 「望遠鏡で観察する宇宙の不思議」

## 「26種類の魚の生息を確認しました」

南丹市自然と人ふるさとクラブなどが参加し、八木町西田の大堰川寅天堰付近で、京都府のレッドデータブックの絶滅寸前種に指定されているアユモドキをはじめとする生態調査を実施しました。昨年度に実施した調査では、5年ぶりにアユモドキの生息を確認したものの、今回の調査では見つかりませんでした。投網などで調査を行った結果、ナマズやオイカワなど26種類もの魚の生息を確認しました。中には、非常に珍しいコイ科のハスの生息も確認されました。



▲採った魚の観察を行う参加者

9/28 アユモドキ生息確認調査



▲パナマでの活動の様態を話される小林さん

平成21年6月から今年6月までの2年間、中米パナマへ国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として赴任していた小林由香里さん（園部町）が、市役所を表敬訪問され活動報告をされました。小林さんは村落開発普及員として、パナマの農村部ノベグレ先住民自治区を中心に、村おこしのための特産品開発に従事されました。「私は、どんどん海外へ行きたい。海外へ行けばいろいろな発見があるし、良い経験ができる。学生の皆さんも一歩を踏み出してほしい」と話されました。

## 「海外へ出れば良い経験ができる」

8/22 青年海外協力隊員活動報告

# なんたんミュージアム

## ―南丹市立西本梅小学校―

※担任の先生、担当教科の先生の  
講評を掲載しています。

「運動会の絵『ロック音頭八木節』」

加舎 大輝さん(2年)



▶決めポーズの手足を曲げたり、伸ばしたりしているとところがしっかりと描けています。

「陶板」

奥村 颯人さん(4年)



▲髪の毛を工夫して表現しましたね。いろいろな動物に囲まれて、楽しい作品ができました。

「お話の絵『ひゅーどろどろかべにゅうどう』」

田中 千也さん(2年)



▶大きな「かべにゅうどう」の暴れている様子がのびのびと描けました。

「街」

中井 大介さん(6年)

# 街

六年 中井大介

▶文字の組み立て方に気を配り、穂先の動きを確かめながら丁寧に書くことができました。

### 編集後記

広報を担当して半年。デジタルカメラの機能にかなり助けられてはいるもののなかなか良い写真が撮れていません。少しでも皆さんに、その場の臨場感や躍動感がお伝えできるよう、これからも頑張ります。(N)

#### △お詫びと訂正▽

広報なんたん8・9月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。

◇4ページ…宮町華倶楽部の連絡先(誤)080-13873-18256  
正)090-13873-18256



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街がきらめくふるさと 南丹市



●総人口：34,374人(+8)  
(男：16,522人・女：17,852人)  
(+1) (+7)  
●世帯数：13,681世帯(+25)  
(平成23年10月1日現在)  
( )内は前月比



●美山町 **山名** **理彩**ちゃん(6歳)  
**山名** **瑞葵**ちゃん(4歳)  
**山名** **栄紘**くん(4カ月)

「いつも笑顔をありがとう。元気に育ってね。」  
(お父さん、お母さんより)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは企画調整課秘書広報係まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 企画政策部企画調整課  
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0008 FAX:0771-63-0653  
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp  
e-mail:kikaku@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。